

高校生がアートでまちを活性化 「みんなでHOKUSAI」

巨大ちぎり絵の共同制作と展示を通して、アートの力で
まちを盛り上げました！



NPO法人 アートコラールきくがわ

所在地：菊川市
ホームページアドレス
<https://www.ackikugawa.net/>
メール：kikugawa.art@gmail.com
TEL：0537-36-5519
イベント主催、企画、告知、運営

NPO

常葉大学附属菊川高等学校

所在地：菊川市
ホームページアドレス
<http://tokoha.net/kikugawa/>
TEL：0537-35-3171
企画、アート作品下絵準備、制作

学校

菊川文化会館アエル（指定 管理者：株式会社 SBSブ ロモーション）

所在地：菊川市
ホームページアドレス
<http://kikugawa-ael.jp/>
メール：info@kikugawa-ael.jp
TEL：0537-35-1515
会場提供、展示

行政

菊川文化会館アエルで開催するミュージカル「北斎マンガ」公演に向けて、NPO法人アートコラールきくがわのコーディネートで、常葉大学附属菊川高等学校（美術・デザイン科）の高校生が地域の子どもたちと巨大ちぎり絵を制作しました。

「北斎マンガ」公演とアートの出会い

NPO法人アートコラールきくがわと常葉大学附属菊川高等学校（美術・デザイン科）は、5年前から協働でアートのチカラで地域の魅力を発信する「まち×ひと×アートプロジェクト」を実施しています。高校生たちは有志で未来学講座（実践型活動）の一環として参加し、まちなかウォールペインティングなど、自分たちの得意のアートで地域活性化に貢献してきました。

一方、菊川文化会館アエルのスタッフで元劇団わらび座の小林涼子さんは、ミュージカル「北斎マンガ」の公演にあたり、舞台上演だけに終わらせず、菊川市民と関わりながら公演を盛り上げたいと考えていました。

小林さんは、菊川市市民協働センターの笠原センター長に相談したことで、アートコラールきくがわの活動を知り、アートコラールきくがわに協力を依頼しました。

「富嶽三十六景」の巨大ちぎり絵を企画

小林さんからの相談を受けたアートコラールきくがわは巨大ちぎり絵を提案し、小中学生も一緒に楽しめるワークショップ『ホールが美術館に变身！「みんなでHOKUSAI」～新聞で巨大ちぎり絵を作ろう～』を

企画。

その後、高校生たちは計画を練ったり、葛飾北斎の富嶽三十六景の下絵を描いたり、新聞紙の色付けをして準備を進めました。

地域のみんなで楽しむアート

菊川文化会館アエルで開かれたワークショップには、高校生80人と小中学生18人が参加。制作したのは「神奈川冲浪裏」「凱風快晴」など5種類。大きさは最大で縦2メートル、横3.6メートルで、素材には色付けした新聞紙を用いました。新聞紙のもつ色の複雑さが味のある作品につながるよう狙ったのです。

高校生が下絵を描いた画仙紙に、絵の具で染めた新聞紙をちぎってのりで貼り付け、みんなで巨大ちぎり絵を完成させました。

※「みんなでHOKUSAI」のアートコラールきくがわの紹介記事：<https://bit.ly/3jZtYTJ>

この作品は2021年6月27日のミュージカル「北斎マンガ」公演に合わせ、大ホールロビーに展示し、作品を前に来場者と高校生が交流しました。高校生は、「子どもたちとアート作品を制作し、地域の方々にも喜んでいただき嬉しい。今回の経験を将来に活かしたい」と話しました。

Point

ミュージカル公演に向けて、「アートのチカラで地域を元気に」という目的を共有しながら、3者の協働が生まれました。高校生や子どもたちは自分の好きなアートを通して、地域に貢献する喜びを得ることにつながりました。

これからの展望

今後も高校生の活躍の場が広がる若者主体の地域づくりを進めていきます。また、文化会館アエルも市民参画型のイベントを開催するなど、地域の文化芸術活動に関わる市民、学校、NPO、企業などが協働で事業を行うことで、菊川市の魅力を高めていきます。

